

倶多楽

1 概況

火山活動は静穏に経過しました。

○平成17年の主な火山活動

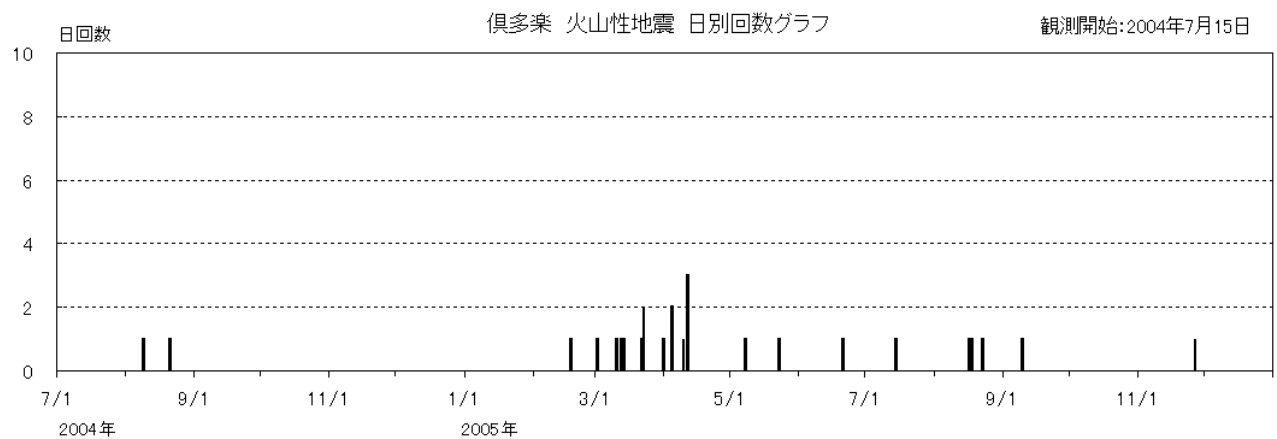
時期	火山活動	火山情報発表状況
	特記事項なし	発表なし

2 地震活動の状況

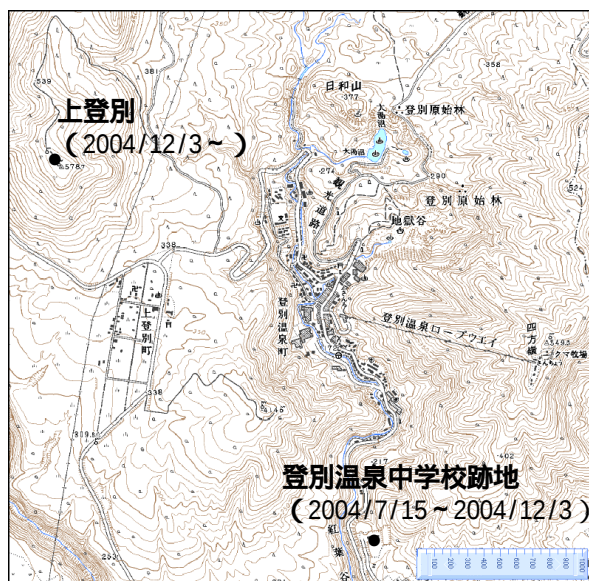
地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数(上登別観測点)

2005年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
地震回数	0	1	7	7	2	1	1	3	1	0	1	0
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



日別地震回数(2005年1月1日~2005年12月31日)



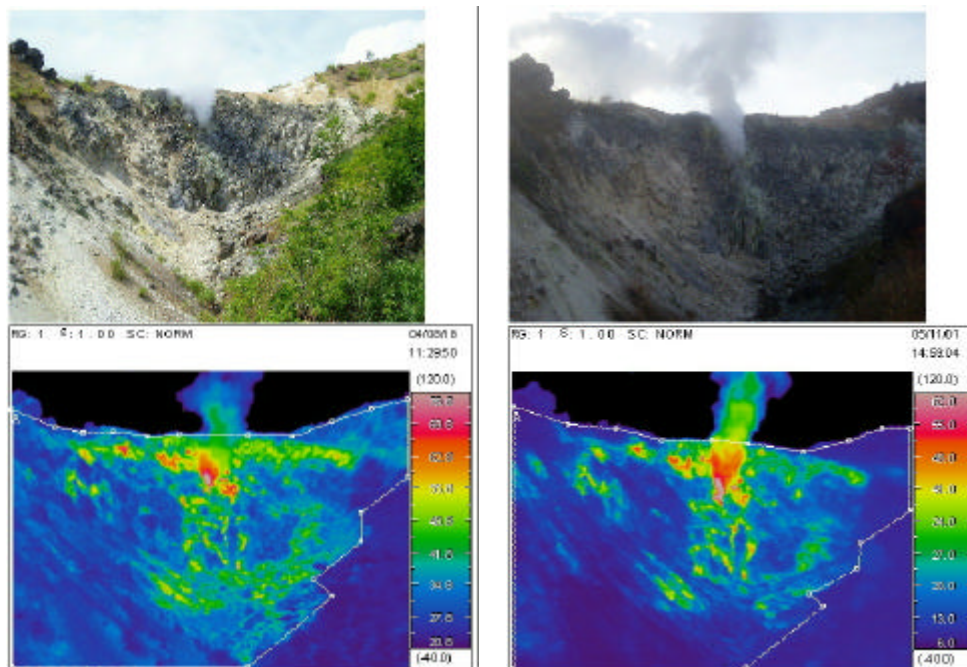
地震計設置点

札幌火山監視・情報センターでは、火山性地震の活動状況を把握するため、2004年7月15日から12月3日までは登別温泉中学校跡地、12月3日以降は上登別において地震計による連続観測を行っています。

3 調査観測の結果

11月に調査観測を実施しました。日和山山頂部の噴気孔ではこれまでと同様、大きな噴気音を伴って白色の噴気を勢いよく噴出していました。噴気温度は114℃で、前回(2004年8月:120℃)と比べて大きな変化はありませんでした。赤外熱映像装置*による観測では地熱域の状況に変化はありませんでした。

大湯沼および地獄谷等の熱活動の状況もこれまでと比べて大きな変化は認められませんでした。



日和山の表面温度分布(左:2004年8月18日撮影 右:2005年11月1日撮影)



大湯沼(2005年11月1日撮影)



地獄谷(2005年11月1日撮影)

4 上空からの観測結果

北海道開発局の協力により6月1日、9月28日、10月12日および11月2日に上空からの観測を実施しました。

日和山山頂部や地獄谷爆裂火口の噴気の状況に大きな変化はありませんでした。赤外熱映像装置*による観測では、大湯沼周辺の温度分布に変化は認められませんでした。

*赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、熱源から離れるほど測定される温度は実際の温度よりも低い値になってしまいます。また、噴煙や霧で測定対象が見えにくい場合には温度測定ができないこともあります。